



2017年6月28日
株式会社まつりば

デジタルネイティブ世代の履歴書代わり「Joinny」誕生 -ソーシャルの力でポテンシャル可視化-

高校生・高専生のアントレプレナーシッププログラムを展開する株式会社まつりばは、新たなサービス「Joinny」を7月3日(月)にリリースします。Joinnyを使うことにより、優れたアイデアを持った若者がサービス・商品・そして「自分自身」を分かりやすく社会や企業、そして出資者にプレゼンテーションすることが可能になります。



▼Joinnyの開発意図及び、ポイントは以下の5点です。

①デジタルネイティブ世代は、社会人になる前の早い段階から、主体的に社会に参画しています。スマホアプリを高校生の段階で開発しリリースをする人も多数。さらには、クラウドファンディングをしてプロジェクトの資金集めを行い、スマホで絵を描いてLINE スタンプ販売やSNSで出資者を集めて店舗経営などデジタルを通じて社会との接点を多数持ち、新たなビジネスや表現を生み出しています。

②そんな彼らの「社会参加ログ (Join ログ)」に注目し、それらのJoin ログを発信しながらレジュメ代わりに記録する場として公開型のポートフォリオが“Joinny”です。6月28日現在は招待制にて事前登録段階中ですが、日本全国、海外在中の活動的な学生約500人が個性的なポートフォリオを公開しています。ポートフォリオには興味タグや写真を中心とした活動ログなど、12個の項目があり、これらに記入することにより、多面的な人物像や

能力（ポテンシャル）が分かります。

③一方で、企業側は新卒ダイレクトリクルーティングを一部の企業で行っているものの、求めている人物像の学生がどこにいるかが分からないのが課題となっています。また、出会ったとしても“選考資料“として提出された定番のエントリーシートからでは、ポテンシャルや価値観は計りにくく、Facebook を覗いて伺い知るしか手段がないという状況にあります。

④当社が提供するJoinny はそんな若者達のポテンシャルを「他己紹介」や「第3者が証明書を付与」するといったソーシャルオーソライズによって、またJoinny エージェントやリクルーターが公開質問（ASK ME）をすることで、顕在化していくことを目指します。

⑤開発者の中には、高校生エンジニアや副業エンジニアも。出資者には、大学の教員など教育関係者も含まれています。Joinnyを活用することで、組織を越えて、個人の才能が活かされる社会を目指します。

-製品情報-

企業担当者向け「Joinny 候補者トラッキングアプリケーション」は、2017年8月を目処にリリース予定。企業側のモニター利用登録も、サイト (<https://joinny.jp/lp> より受付を開始している。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社まつりば 代表取締役 森 真悠子

サービス URL : <http://joinny.jp>

E-mail:mm@matsuriba.com tel:080-1264-5298

●企業情報●

主な事業：教育・育成事業

高校生・高専生向け起業体験プログラム (<http://startupbase-u18.com>)

設立：2014年7月 資本金：850万円

役員：3名

所在地：東京都渋谷区